

2023Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	中澤 暁子
大会名	2023 OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP
開催地	スペイン コスタブラバ
大会期間	2023 6/15~6/25

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	湿度が低く過ごしやすい。午後9時半過ぎからやっとな日暮れ始める。キャンプリゾート施設、海水浴場のためサマーバケーションを過ごす観光客に混じって過ごした
宿泊場所	巨大なキャンプ施設で、施設の中に全て揃っており(レストラン・スーパーマーケット・八百屋・パン屋・プール・コインランドリーなど)半径 100mぐらいの中で過ごしていたため、選手たちは海外にきたという刺激はあまりなかったかもしれない。宿泊したバンガローに生活に必要なものは揃っており全く不便を感じなかった。
大会のサポーターへの対応は	ほかの一般のお客さんもたくさんいるため、セキュリティも厳しくなく快適に過ごすことができた。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	日暮れが遅いため、夜型になるのを防ぐため 10 時就寝を心がけた。スペインは朝がゆっくりとしていて試合も 13 時予告のため 身体的にはあまり負担ないように思えた。またバンガローにキッチンがあるため日本食を作ることができ 食事面もストレスもなかったように思う。
サポーターとして気をつけたことは？	遠浅の砂浜出艇のため 巻き波の影響で 3 日間出艇が出来ず APA の判断も 15 時ぐらいまでかかるため キャンプ施設の中でずっと待ち続けてフラストレーションがたまっていたため 街まで散歩に連れ出して観光や街のレストランに連れて行き リフレッシュできるように心がけた。
海外の選手を見て感じたことは？	陸にいる時は、どの国の選手も子どもらしく、騒いで遊んで楽しそうに過ごしているが試合モードへの切り替えがすっとできているように見えた。
日本の選手を見て感じたことは？	あまりにも快適でメリハリがないように見えた。時間はたくさんあったが、試合に臨む心構えを作る時間が足りないようにみえた。また 4 日間試合が出来ず、チームレースにも出場できなくなり、気持ちの切り替えができないまま最終日決勝シリーズを迎えてしまったように思う。

Spare day の 過ごし方は？	4 日間試合ができなかったため Spare day はなかった。自然相手であるが、4 日間試合ができないのは つらく、焦りも出てくるため 気持ちの整理をする機会をみんなで作ればよかったと思う。
日本チームとして の課題はありました か	気持ち・意識がないわけではないが 試合への切り替えが上手くないように思えた。結果実力が出し切れていないよ うに思えた。また試合中、窺に優しく遠慮してしまう場面があるのではないかと考えた。もっと自分に自信を持って 大きな大会でもしっかりとした主張と自分のいつもどおりの走りができるようにならなければ世界での上位は狙えな いと感じた。
JODAへの要望	中澤選手の抗議では 審問で自信の無さが出てしまいスターボ・ポートで勝てる抗議が却下となってしまった。 初めての海外での抗議、どのように行われるのか、これだけは強く主張したい という英語のフレーズ 不安ならば紙に書いていってもよいことなど 審問の予行練習をNT合宿で行うなど してほしい また海外のトップレベルのチームがどのようにワールドに向けて取り組んでいるのか どれだけ取り組みば上位に いけるのか という情報を与えてあげてほしい。
その他	NT選考会、NT合宿 のサポート ワールドへの補助金(一粒万倍日)も本当にありがとうございました 来年のワールド アルゼンチンは 移動・日程(12 月中旬)ともにないハードになると思いました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会